



未来の子どもたちのために

桑原としひこ通信

平成28年(2016年)2月13日発行 Vol.2

討議資料

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月議会では、初めて一般質問をいたしました。

今年の議会においても、沼田市の発展につながるよう微力ですが精一杯努力してまいります。
よろしくお願いいたします。

平成27年12月議会 一般質問

発言要旨	質問内容
1、まち・ひと・しごと創生総合戦略における分散型エネルギーの推進について	①再生可能エネルギーの利用による産業と雇用創出の具体的内容について ②過去におけるペレット燃料製造の顛末について ③ペレット燃料の製造及び普及による雇用創出について

Q1 新産業の創出にある「分散型エネルギーの推進」として、私はペレット燃料の製造及び活用について考えてみました。沼田市においてまさしく重要な分散型エネルギーだと考えます。
再生可能エネルギーの利用による産業と雇用創出の具体的内容についてお伺いします。

A1 今後の取組み内容と致しましては、地域内におけるエネルギー需要の状況や、地域特性を踏まえた利用可能なエネルギー資源を把握し、地域の事業者や新たな起業家などと連携を図りながら、地域の特性を活かしたエネルギーの導入と活用方法を検討し、具体的な事業計画を策定してまいりたいと、考えております。

Q2 過去におけるペレット燃料製造の顛末についてお聞かせください。

A2 森林エネルギー活用新技術実用化モデル事業により実施された事業で、沼田森林資源活用協働組合が事業主体となり、国と県の補助金、市債、自己資金を合わせ、事業費4600万円を投じてペレット生産施設を設置し、事業を実施した経緯が残っております。

■ペレットとは

木材を原料にした新しい燃料です。原料には、間伐材や製材端材が使われ、小粒状の固形燃料になります。また、灯油のような液体燃料と違い、漏れたり染みたりする心配がなく、嫌な臭い也没有せん。



Q3 ペレット燃料の製造だけ計画していても、物が出て行かなければ、いずれ在庫がたまり経営が成り立ちません。その為には売上の部分、いわゆる出口の部分がかつとも重要です。真っ先に行政の参加により、公共の建物の暖房はペレットストーブに順次切り替え、個人の購入費については補助の対象にしていき、企業へ協力を呼びかけ、段階的な販売計画を立てていくべきです。私は今回のペレット燃料の製造計画は、障害者の方々と高齢者の方々の雇用計画の為に考えました。ペレット燃料の製造及び普及による雇用創出についてお考えをお聞かせください。

A3 木質ペレットは取り扱いが容易で、利便性に優れていることから、一般家庭の灯油代替燃料として、有効であると考えられております。ペレット燃料の製造は、原材料となる木材等の確保や製造工場、製品の運搬等の関連産業の起業や、就労といった雇用の創出が期待されますが、事業の実施に際しては、安定した原材料の確保と製造コストの低減化、生産されたペレットの利用方法等も含めた総合的な事業計画が必要であると考えております。

一般質問にあたり、新潟県の福祉作業所を視察してきました!

みなさん本当に楽しそうに、ペレット燃料を作っていました。沼田市も実行できるはずですよ!



ペレット燃料作り



着火材作り



ペレットストーブ部品作り

夢を実行する!

地域再生計画に認定されました!

事業目的

人材確保・育成
建設業に魅力を出す。若手人材を確保し、短期間に即戦力化できる教育体制を育み上げる。

地域活性化
地域に定着した若手プログラムの導入により、建設業で働く若者を増やし、地域産業まで含めた地域全体の活性化を目指す。

遊休施設活用・過疎対策
遊休になった学校を訓練施設を有効に活用することで、若手育成を実現します。また、安全安心に暮らせる地域として健全に保たれるよう、過疎対策への貢献を目指します。

近隣施設のご案内

南郷地区 しゃくげの湯
群馬県南郷町 100-1
TEL. 0278-25-0011

沼田市南郷の曲屋
群馬県沼田市南郷町 150-1
TEL. 0278-25-0011

一般社団法人 利根沼田テクノアカデミー
群馬県沼田市南郷町 654 番地 (群馬県建設協会内)
TEL. 0278-25-8852
FAX 0278-25-8852

建設業の魅力を伝え、地域産業の活性化を目指す
短期育成型技能訓練校 利根沼田テクノアカデミー

2016.4 開校

旧 南郷小学校 利用

板金コース **瓦コース**

詳しくは当校ホームページをご覧ください
<http://it-academy.jp>

利根沼田テクノアカデミーは、建設業の魅力を伝え、短期間での中核講座を行うことにより、現場に即戦力となる人材を育成します。

事業の目的

① 建設業界では職人の減少が大きな問題となっています。入職者が減少しているにもかかわらず、せっかく入っても辞める人が多く、1年以内に辞退する方はなんと40%を超えるといわれています。職人に定着して活躍していただく、得もたず失もたない人材を育成することが目的です。

② 多くの問題を克服するため、3カ月前で基本の技能と知識を身につけることができる、利根沼田テクノアカデミーの「専門工事業務技能訓練コース」です。現場に出る前に、安全衛生や労働法などの基礎知識を身につけることで、現場での対応力や責任感に自信をもてるようになります。また、現場でできる仕事が増えるため、仕事のやりがいもアップします。目標として掲げる高品質のサービスを実現し、現場での活躍が上がるというメリットがあります。

訓練で得られること

- ① 大切な基本技術を、繰り返し訓練で確実に身につけることができます。
- ② 建築の知識と各業界の基本知識を同時に得られます。
- ③ 安全管理などを身につけることで、安心して現場に出ることができます。

訓練校での
合宿訓練
3カ月

+

会社に戻り
現場訓練
6カ月

カリキュラム 3カ月 / 61 日 授業

01. 基礎訓練
基礎訓練を行うための室内で基礎的な作業を学ぶ。現場での作業のイメージを伝える。現場での作業のイメージを伝える。現場での作業のイメージを伝える。

02. 本訓練
板金と瓦の 2 コースがあり、現場で実際に作業を行う。現場での作業のイメージを伝える。現場での作業のイメージを伝える。現場での作業のイメージを伝える。

費用について

- 受講費用 1,200,000 円 (訓練に使う道具・資料などは支給)
- 訓練期間中の給与・交通費・食費・宿泊費は別途となります。

助成金について

群馬県庁のキャリア形成促進助成金 (ものづくり型) を活用できます。(雇用保険適用者のみ)

● 助成金総額 合計 1,454,000 円

内訳: 受講費用の 3/5 (上限 50 万円)
賃金助成 (OJT 訓練期間の 3 ヶ月) 月額 800 円 × 487.5 時間 × 365.000 円
OJT (自社での訓練 6 ヶ月) 月額 700 円 × 840 時間 × 588.000 円

利根沼田テクノアカデミーのパンフレットができあがりました

利根沼田テクノアカデミーの現状報告

開校式が4月4日に決まり、グラウンドを利用する訓練施設の工事は、急ピッチで進んでいます。

旧校舎の教室は、生徒が宿泊できるようにする為に、普通教室全面に畳を敷き詰めます。そして一階に食堂を作る計画で現在進んでいます。訓練期間以外は、南郷地区の方々に施設を開放し、地域の活性に役立てていただければ幸いです。生徒は30名定員のところ、現在26名集まりました。ほとんどの方が県外の出身です。まだまだやる事が山盛りですが、4月4日の開校式を実現する為に精一杯がんばります。

次の通信では、結果を御報告しますのでよろしくお願いします。

絵花 シリーズ②

ろうばいの花



建設訓練校 官民で運営

沼田 廃校を改修 来春開校へ

建設業の担い手を育てる訓練校「利根沼田テクノアカデミー」(仮称)の開校準備が、沼田市で進められている。2010年の東京五輪・パリンピックを控え、全国的に建設業の技術者不足が懸念されていることから、官民が協力して運営にあたる。市役所で28日に運営法人の発足準備を沼田市で協議する。

これまで、市役所にあった建設業の担い手を育てる訓練校「利根沼田テクノアカデミー」(仮称)の開校準備が、沼田市で進められている。2010年の東京五輪・パリンピックを控え、全国的に建設業の技術者不足が懸念されていることから、官民が協力して運営にあたる。市役所で28日に運営法人の発足準備を沼田市で協議する。

建設業の担い手を育てる訓練校「利根沼田テクノアカデミー」(仮称)の開校準備が、沼田市で進められている。2010年の東京五輪・パリンピックを控え、全国的に建設業の技術者不足が懸念されていることから、官民が協力して運営にあたる。市役所で28日に運営法人の発足準備を沼田市で協議する。

読売新聞 (2015年10月28日掲載)

あとがき

私は木花を育て、その花の絵を描くことが、唯一の趣味です。今回の花「ろうばい」は、12年前から育てています。今年は少し早く咲きました。花の香りと、透きとおった花びらが魅力的です。次回もお楽しみに!

桑原としひこ後援会

沼田市町田町257 TEL.0278-23-0400 Fax.0278-25-3072
<http://www.facebook.com/kuwabaratoshihiko>